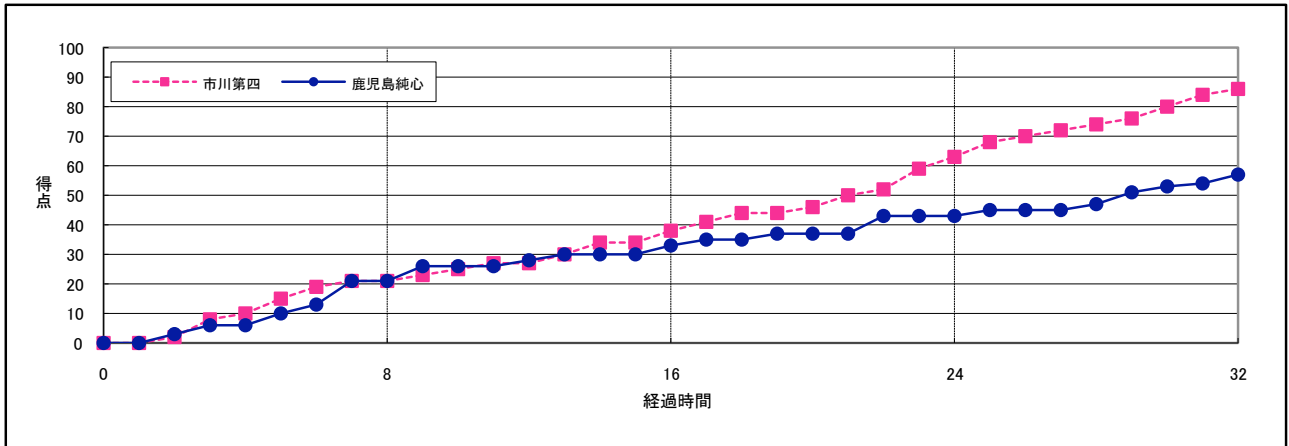


平成21年度全国中学校体育大会  
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 女子 Eコート第4試合 決勝トーナメント1回戦				
日時	8月21日(金)			13:30 ~	
会場	サンアリーナせんだい				
結果	市川第四	千葉 86 ○ 鹿児島純心 57 ●	鹿児島純心		
			21 1st 21		
			17 2nd 12		
			25 3rd 10		
		23 4th 14			
		OT			
審判	主審 近井 英俊		副審 田中 充		



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

市川第四							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	小出 沙樹	×	28	0	11	6	2
5	宮坂 桃菜	×	2	0	1	0	3
6	藤井 理恵	×	10	0	5	0	1
7	岡村 祐希	×	23	0	9	5	4
8	後藤 楓						
9	松丸 裕佳里	/	0	0	0	0	0
10	櫻本 静月夜						
11	野崎 理満	/	0	0	0	0	1
12	川崎 未央						
13	山口 莉奈	×	20	4	4	0	1
14	渡辺 杏奈						
15	倉脇 梢	/	3	1	0	0	0
16	岸田 美羽						
17	黒澤 朔良						
18	石井 翠						
監	志村 陽子						
C							
合計			86	5	30	11	12

鹿児島純心							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	新保 宏奈	×	15	1	4	4	2
5	中山 好美	×	20	3	3	5	4
6	鶴木 優佳	×	11	1	3	2	1
7	菊永 里奈	/	0	0	0	0	1
8	荒川 菜摘	/	5	1	1	0	4
9	四郎園 未央	×	0	0	0	0	3
10	吉元 奈央	/	0	0	0	0	0
11	駒走 木の实	×	6	2	0	0	0
12	永吉 美香子	/	0	0	0	0	0
13	大原 美海						
14	川原 弓佳						
15	田中 沙奈						
16	四郎園 明夏						
17	迫 ちひろ						
18	福留 菜穂						
監	小園 裕之						
C	前田 孝一						
合計			57	8	11	11	15

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、両チーム立ち上がりのディフェンスは、ハーフのマンツーマンディフェンス。お互い堅さが見られるが、鹿純心#5の3Pシュートで先制する。すぐさま市川第四の#7が入り返す。市川第四は#7を中心に高さを生かしたプレー、鹿純心はカットインから相手のファールを誘う。市川第四はディフェンスリバウンドからの速攻で得点する。鹿純心も次第に足が動き出す。市川第四も巧みなパスワークから点数をあげていく。しかし鹿純心もハーフのマンツーマンディフェンスからハーフの2-1-2のゾーンディフェンスに切り替え#4の連続ポイントで食い下がり1P、21-21同点で終了。

第2P、鹿純心は2-1-2のゾーンディフェンス、市川第四は1Pと同じハーフのマンツーマンディフェンス。鹿純心は2P開始早々#8の連続ポイントを奪うが市川第四も#7のジャンプシュートで応戦。お互い一歩も譲らず一進一退の攻防が続く。鹿純心#4シュートを決めると市川第四も#13が3Pを入り返す。市川第四38-33鹿純心で前半終了。

第3P、後半で出しのディフェンスは市川第四ハーフのマンツーマンディフェンス、鹿純心はハーフの2-1-2のゾーンディフェンス。鹿純心は後半開始早々#6のミドルシュートで好スタートを切るが市川第四も#4がバスケットカウントを決める。開始2分次第に流れが市川第四に向きかけるが、鹿純心#4の果敢なドライブインでファールを誘い、#9のスティールなどで流れを止めようとする。しかし、市川第四の巧みなパスワークから#6がシュートを決め11点リードとなったところで、鹿純心がタイムアウトをとる。鹿純心は厳しいディフェンスから#11、#6の連続3Pシュートで食らいつく。市川第四#4のカットインシュート、#13の3Pシュート等で、市川第四63-43鹿純心で3P終了。

第4P、鹿純心は市川第四の高さのあるディフェンスに攻め手を欠く。鹿純心はディフェンスをオールコートで1-2-1-1ゾーンプレスに変え相手にプレッシャーをかける。しかし、市川第四のパスワークの良さを阻止できず、逆に相手にスティールされ加点されてしまう。尚も鹿純心は果敢に攻めるが市川第四86-57鹿純心で試合終了。インサイド、アウトサイドのプレーを織り交ぜながら素早いパスワークで責め続けた市川第四、小粒ではあるが最後まで諦めずボールに食らいついた鹿純心のプレーに会場からも拍手が送られた。